

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和7年5月23日（金）

### 2 確認箇所

- ・ R O 3 建屋（図1）
- ・ J A E A 第2棟建設予定地（図1）

### 3 確認項目

- （1）淡水化装置 R O 3 の状況
- （2） J A E A 第2棟建設工事の状況

### 4 確認結果の概要

#### （1）淡水化装置 R O 3 の状況

4系統で構成される淡水化装置 R O 3 は滞留水に含まれる塩分を逆浸透膜（R O 膜）を用いて除去し、淡水にすることを目的に設置されている。令和6年5月17日に淡水化装置 R O 3 - 2 において、配管圧力を測定するための計装チューブから水が滴下していることをパトロール員が確認し、R O 3 - 2 を停止することによりリークが止まったことを確認した。東京電力によると、計装チューブ同士が振動により擦れ、ピンホール（小さい孔）の発生に至ったと推測した。計装チューブ交換後、接触していた箇所に緩衝材を取り付ける対策を実施しているため、今回は対策状況について確認した。（前回確認：[令和6年5月22日](#)）

- ・ 計装チューブには緩衝材が取り付けられており、漏えい対策は継続されていた。（写真1）
- ・ 現地確認時、淡水化装置 R O 3 は高圧ポンプの取替工事により稼働していなかった。（写真2）
- ・ 建屋内では高圧ポンプの取替工事に向けた系統構成を実施しており、弁操作は複数人で手順書を確認しながら実施していた。（写真3）
- ・ 確認した範囲において、計装チューブや配管から系統水の漏えい等の異常は認められなかった。

#### （2） J A E A 第2棟建設工事の状況

日本原子力研究開発機構（以下「J A E A」という。）は、事故で発生した燃料デブリ等の安全な取り出し等の作業推進に資するための性状の把握を目的に、福島第一原子力発電所の敷地内に、放射性物質分析・研究施設第2棟（以下「J A E A 第2棟」という。）を設置する計画である。

J A E A 第2棟の建設工事が令和7年3月31日に開始されていることから、工事の状況を確認した。なお、J A E A 第2棟の設置については、

県が専門家や関係市町村とともに計画の内容を確認し、適切に計画されていると評価した上で、令和7年3月25日に事前了解した。（前回確認：令和7年4月3日）

- ・建設現場では20名ほどの作業員がおり、JAEA第2棟地下1階の床面のコンクリート打設工事や配筋工事が行われていた。（写真4）
- ・作業員同士の声掛けやフルハーネスの着用など安全対策が徹底されていた。

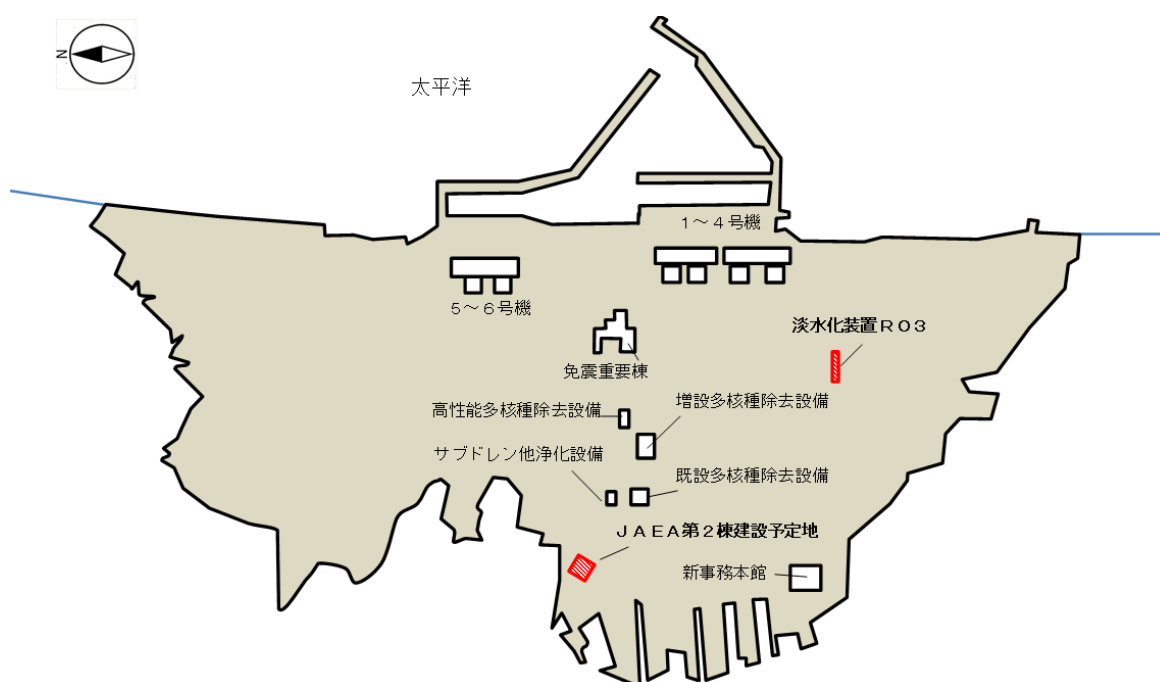


図1 福島第一原子力発電所1構内概略図



(写真1)  
緩衝材の設置状況  
※漏えい発生時、チューブ  
（黒）とチューブ（白）が接  
触していた。



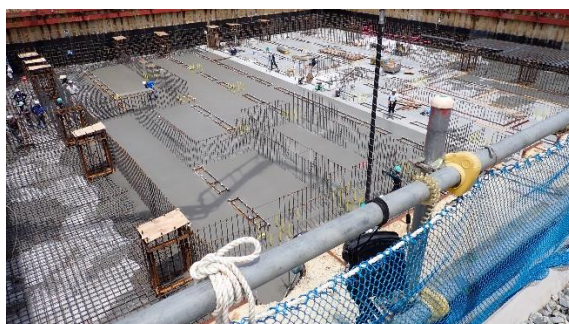
(写真 2－1)  
高圧ポンプ取替工事の状況①  
※ポンプが取り外された状態



(写真 2－2)  
高圧ポンプ取替工事の状況②  
※取替前の高圧ポンプ



(写真 3)  
系統構成の実施状況



(写真 4－1)  
JAEA 第 2 棟建設工事の状況



(写真 4－2)  
コンクリート打設工事の状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。